

平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	英語を活用した再就職支援		
法人名	学校法人佐野学園		
学校名	専門学校 神田外語学院		
代表者	理事長 佐野 隆治	担当者 連絡先	佐藤 武揚 TEL 03-3258-5863
<p>1. 事業の概要</p> <p>国際社会の「日本」にとって、「子どもから大人」まで、英語による活発なコミュニケーションを図る学習が必要です。</p> <p>「児童英語講師養成プログラム」では、幼稚園児から小学6年生までの発達年齢に応じた教授法を取得するための内容実践を交え、英語の発音矯正も含む講座です。受講生 20名 (TOEIC 500点前後)、理論 (20時間)、実践 (70時間)、宿泊研修 (5時間)</p> <p>「国際ビジネスマン養成プログラム」では、業務上のビジネス英会話を円滑に行うため、場面別に会話練習を行います。貿易実務では、貿易全体の流れ、顧客の発見方法から契約の履行、決済、クレーム対処まで、どのような流れで輸出入が行われているのか理解し、輸出入関係の学習、ロールプレイを含めたプレゼンテーション学習を行う講座です。受講生 20名 (TOEIC 500点前後)、ビジネス英会話 (40時間)、貿易実務 (40時間)、プレゼンテーション (20時間)、宿泊研修 (5時間)</p>			
<p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>社会人のキャリアアップ教育プログラムで英語を活用した再就職支援講座として、「児童英語講師養成プログラム」「国際ビジネスマン養成プログラム」を平成20年1月21日～平成20年3月1日迄実施いたしました。最終日の2月29日～3月1日は、白河高原の中世英国の村を再現した国際研修センター (British Hills) で受講生、担当講師の交流等を含めた宿泊研修を行いました。</p> <p>以下の点において、十分な成果達成ができました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 実施委員会、分科会での協議。カリキュラム・教材関係の制作。担当教員の決定。受講生の募集から講座実施まで。 2) 神田外語学院の講師による学習指導。 3) 実績報告書において述べております、受講生の属性・受講者数、受講者の反応 (アンケート) からみられる受講生の満足度。 			
②事業により得られた成果			

1) 事業実施にあたり、5回の実施委員会と各講座2回ずつの分科会。カリキュラム・教材制作。時間数、レベル、内容等における検討・会議、講座の実施に至るまで、多くの検討作業により成果が得られました。

2) 「児童英語講師養成プログラム」

カリキュラム関係

英語—発音矯正・PHONICS教授法・教室内で使用される英語

理論—児童心理・言語習得

実技—年齢別による教授法

* 自己改革のためのトレーニング

* 教室運営方法

教材関係

<英語>

1. FUN WITH PHONICS

ワークブック・アルファベットカード

2. SONG CD

3. CLASSROOM ENGLISH(プリント教材)

<理論>

1. 児童心理 講義

2. 親の心理・接し方 講義

3. 子どもの言語習得 プリント教材

4. クラスの運営の仕方 プリント教材

5. レッスンプランの立て方 プリント教材 講義

<実技>

1. 未就園児 プリント教材

2. 幼稚園児 プリント教材

3. 小学低学年 プリント教材

4. 小学校中学年 プリント教材

6. 小学校高学年 プリント教材

2) 「国際ビジネスマン養成プログラム」

カリキュラム関係

ビジネス英会話—— 職場で使う英語表現の習得

貿易実務—— 貿易を行う上での全体の流れの習得

プレゼンテーション —発表を効果的に行うスキルの習得

教材関係

1. ビジネス英会話テキスト

「VISITORS, CONVERSATION, AND MEETINGS」
FIRST STEPS IN BUSINESS SKILLS 1

2. 貿易実務テキスト

「FOREIGN TRADING BUSINESS—KNOWLEDGE AND
PROCEDURES—」 FIRST STEPS IN BUSINESS SKILLS 3

貿易実務テキスト(ライティング)

「ENGLISH COMMUNICATION FOR TRADING BUSINESS」
FIRST STEPS IN BUSINESS SKILLS 4

3. プレゼンテーションテキスト

「BASIC PRESENTATION SKILLS」
FIRST STEPS IN BUSINESS SKILLS 2

③今後の活用

児童英語講師養成プログラム:90時間、国際ビジネスマン養成プログラム:100時間。TOEIC 500点前後の学習者に対してのカリキュラム・教材の制作。講座実施。受講生の反応。社会人のキャリアアップ教育プログラムは多くの成果が得られました。

今後の活用に関して、受講希望者の英語力、学習時間数に応じて教材の一部の改定・補足、学習時間数の変更等が必要かと思いますが、有効な活用が期待できます。

④次年度以降における課題・展開

平成19年度委託事業(2次分)の委託期間は平成19年9月10日～平成20年3月17日までの短い期間で、講座実施期間も20年1月21日～3月1日と限定された期間でしたが、受講生の英語力も高度で、教育内容も満足なものとなりました。

次年度以降の課題ですが、開催時期の問題、学習時間の問題、学習目的から考えますと、TOEIC 500点以下の学習希望者に対するクラスの設定・指導等の必要性があります。

3. 実証講座

A)児童英語講師養成プログラム

本プログラムには31名の参加申込がありましたが、年齢・英語力を基準に20名に参加を認めました。再就職決定等で、全員女性18名(30代11名、40代2名、50代3名最高年齢59歳)で開講しました。学歴的には大卒8名、大学院卒1名、短大・専門

学校卒でした。児童英語講師希望者が多く、再就職の準備等明確な目的を持つ受講生が大半でした。

子どもに教える時の教材、アルファベットカード、場面設定をし、言葉のやり取り練習。児童心理、クラス運営の仕方、レッスンプランの立て方等英語と理論の学習。英語のセンテンスに歌を通して覚えるSONG CDの活用、ハンドアウト及び副教材を使用しての実技指導。

講座終了時のアンケート(BH宿泊研修含む)結果で見ますと、15名の回答では、講座成果の満足度が得られました。「再就職を考える時に児童英語講師になるという選択肢が出来た」等の回答が目立ちました。今後もこのような「社会人のキャリアアップ教育プログラム」に参加したい希望者が多数でした。

B)国際ビジネスマン養成プログラム

本プログラムには29名の参加申込がありましたが、年齢・英語力を基準に24名の参加を認めました。再就職の決定、日程が合わない等で、17名(男性9名、女性8名)で開講しました。20代6名、30代11名。最高年齢は58歳の男性でした。

学歴的には大学卒13名、大学院1名、専門学校卒1名。受講動機は「再就職の準備」8名、「スキルアップ」5名、「貿易知識の習得」3名。次の就業に役立たせようという意思が受講生全員に見られました。

日常会話とビジネス会話の違い、企業への訪問時の商談の切り出し方、話の切り方、またミーティングで必要な場の仕切り方等必要な表現を習得して、ロールプレイに取り組む学習。貿易実務の基礎学習。「信用状」「インコタームズ」など時間をかけての学習。アイコンタクト、効果的なジェスチャー、発声による効果、発表力の構成を含むプレゼンテーション学習。

講座終了時の(BH宿泊研修を含む)結果で見ますと、受講生の多くが、この講座は適切で満足な成果が得られました。但し、「貿易は用語が多く大変、経験者でないと付いていけない、学習目的に合っていない。」回答者も中にはいました。

国際ビジネスマンというのは貿易関係限定の考え方でいいのか等、今後の検討課題が増えたようでした。

4. その他

事業実施にあたり、再チャレンジ支援推進事業として、日本の将来にとって重要な、2講座の設定。受講生・担当教員との親交、中世英国村での宿泊研修の実施。短期間の講習でしたが効果的でした。